

カンボジア国プノンペンにおける総合交通管理計画及び交通管制センターの能力開発 プロジェクト詳細計画策定調査

1) プロジェクトの背景と目的

カンボジアは近年経済発展を背景にプノンペン都内の交通渋滞が深刻化している。JICAは無償資金協力「プノンペン交通管制システム整備計画」を実施し、当国政府より、プノンペン都等関係機関職員によるシステムの運用及び維持管理に関する能力向上、並びにプノンペン都内の総合交通管理対策を目的とした技術協力プロジェクトに関して要請があった。本調査は、計画枠組み、実施体制、成果と活動等を整理し、プロジェクトの内容を確認・協議し、事前評価を行うことを目的とする。

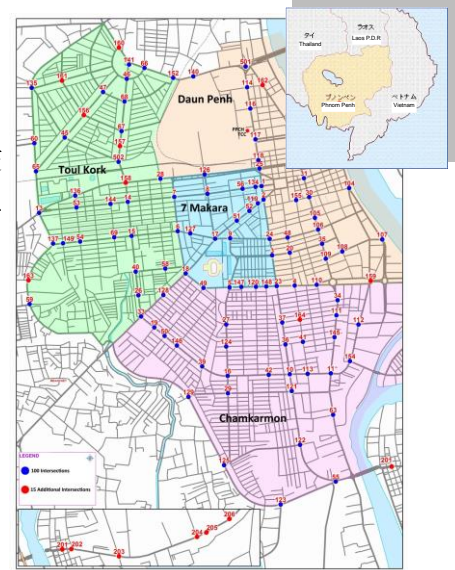


図 プロジェクトの位置

2) 入札結果と評価

一般競争入札（総合評価落札方式）で実施された入札には、メッツ研究所、パシフィックコンサルタンツ、アルメック VPI の 3 社が参加し、技術点・価格点とも 1 位となり、メッツ研究所が総合点 86.76 点（第 2 位は 83.64 点、3 位は 81.64 点）で受注に至った。プロポーザルの内容は各章とも 3 社中、1 位を獲得。一般的に評価が割れることが多いとされる評価委員毎の評価においても全評価委員から 1 位の評価を獲得した。メッツが主幹企業（以下、プライム）として実施した、都市交通マスタープランと信号無償の経歴、システムのカンボジア側への移管後、長らくメッツが管制センターをフォローしてきたことが功を奏した、システム完成後の不具合の把握、現地大学との連携含む相手国側との人脈形成、諸外国に比べ多い現地の休暇をも踏まえた工程計画など現地の特性を踏まえた検討レベルの高さが評価された。

3) 実施結果

コロナ禍で、現地へ渡航しての調査ができず、リモートによるインタビューや Web 会議での情報収集・内容検討となったが、これまでのカンボジアプノンペン都における都市交通分野の経験と地の利、並行して実施していたプノンペン都発注の交通マスタープラン改訂業務での現地との CONTACT 実績等を総動員し、主に、以下の成果を得るための活動を本格調査（技プロ）で実施することを現地関係者との間で合意した。

< 技プロの内容検討結果（主な成果） >

〔成果 1〕：交通管制システムの保守管理体制の確立

〔成果 2〕：交通管制システムの運用に関する TCC 職員の能力向上

〔成果 3〕：信号機改良のパイロット事業実施を通じた信号設計の実施能力向上

〔成果 4〕：関係職員の交通管制システム拡充計画策定能力向上

〔成果 5〕：プロジェクト効果持続のための関連機関の交通管理対策の能力向上

4) 今後の取組

その後、ほぼ、本業務での検討内容のまま、約3年間で100MMの専門家を投入する規模で「カンボジア国プノンペンにおける総合交通管理計画及び交通管制センター運営維持管理の能力改善プロジェクト」（技プロ）がJICAより発注された。一騎打ちの戦いを制し、無事にメッツ研究所をプライムとする共同企業体が2022年1月より実施中。

システム移管後～本格調査（技プロ）における現地の様子	
	
<p>写真1. 光ファイバーケーブル切断事故 (2020年7月)</p>	<p>写真2. 沿道火災による光ケーブル損傷 (2020年2月)</p>
	
<p>写真3. 衝突事故による信号機材破損 (2020年1月)</p>	<p>写真4. ヌンパロット プノンペン都副知事との面談 (2022年2月)</p>
	
<p>写真5. 交通管制センタースタッフとのミーティング (2022年2月)</p>	<p>写真6. おたんじょうび おめでとう！ (2022年2月)</p>
	 
<p>写真7. フレンチでランチ ちょっとイメージかわるでしょ？ (2022年3月)</p>	<p>写真8. 中条あやみ似の現地スタッフ ソキムちゃん (20XX年 数年前の写真らしい)</p>